

「大卒を大工に」入社希望殺到



同社は89年に秋元久雄社長(61)＝写真＝が創立。創業20年を迎え、人材育成とものづくりにかける思いを書いた「高学歴大工集団」(PHP研究所)を、このほど出版した。ゼネコンの営業マンから会社を興した秋元社長は「コスト優先でマニュアル化された仕事では人間の尊厳が失われる。ものづくりを真剣に考える一流の大工を育てたい」と語る。

著書では、「中小企業

大学で建築を学んだ新卒を正社員に採用、大工や左官の技能者として育てる、異色の経営方針を置く沼津市大岡の建設会社「平成建設」に、全国から入社希望が殺到している。来春採用予定50人のうち県内は4人だけで、建築を志す学生にとって全国区の企業となっている。

【安味伸一】

沼津の「平成建設」全国から注目

はニツチな世界の金メダルを目指せ」や、人材採用の際には「何か一つでも取り柄があれば、それでいい」など企業経営の考え方も披露し、厳しい時代を生き抜く指針ともなりそうだ。

在来工法の木造住宅や、マンション建設を手がける同社は建設不況にもかかわらず、今年10月期決算で売上高103億円(前期96億円)と好調。社員数は不動産のグループ企業と合わせて415人。今年4月に採用した大卒50人の出身地は青森から沖縄にわたる。来春採用予定者(50人)も全国各地から志望、入社希望は約1000人に上ったという。